

2005年日本国際博覧会（愛・地球博）政府出展事業 長久手日本館

世界初 “360度全天球型映像シアター”

# 「地球の部屋」

## 映像上映スケジュールのお知らせ

長久手日本館「地球の部屋」の映像上映につきまして、  
閉幕前9日間 < 9月17日(土)～25日(日) > に限り、  
バージョン1・2・3の各バージョンを日替わりで上映いたします。

長久手日本館の1展示として、開幕以来好評をいただいております、世界初の360度全天球型映像シアター「地球の部屋」。「地球の部屋」の映像コンテンツにつきましては、バージョン1“青のかがやき”、バージョン2“緑のささやき”、バージョン3“生命(いのち)のきらめき”の3パターンで、これまでに、それぞれ下記のようなスケジュールで上映を実施してまいりました。

- 3/25 ～ 5/31 … バージョン1 “青のかがやき”
- 6/1 ～ 6/5 … バージョン2 “緑のささやき”
- 6/6 ～ 偶数日 … バージョン1                      ○ 6/7 ～ 奇数日 … バージョン2
- 7/21 ～ 8/31 … バージョン3 “生命のきらめき”
- 9/1 ～ 奇数日 … バージョン2                      ○ 9/2 ～ 偶数日 … バージョン1

しかし、9月に入り、来館者からバージョン3上映のご要望が数多く寄せられたことを踏まえまして、9月17日からの閉幕前9日間に限り、バージョン3も上映ローテーションに加え、各バージョンを日替わりで上映することを決定いたしました。

9/17(土) … バージョン1	9/18(日) … バージョン2	9/19(月) … バージョン3
9/20(火) … バージョン1	9/21(水) … バージョン2	9/22(木) … バージョン3
9/23(金) … バージョン1	9/24(土) … バージョン2	9/25(日) … バージョン3

閉幕前9日間の「地球の部屋」上映スケジュールは上記の通りで、閉幕日はバージョン3の上映となります。

長久手日本館では9月17日からの閉幕前9日間におきまして、上記「地球の部屋」の特別上映スケジュールを実施するほか、思い出に残る日本館の風景を楽しんでいただけるよう、入館待ち導線付近のプランター樹木にイルミネーション演出を行います。また、22日前後には長久手日本館入館者300万人目を達成する見込みで、達成時にはセレモニーを行う予定です。

## 地球の部屋 概要

長久手日本館「地球の部屋」は、球体内部の壁全てがスクリーンとなる、世界初の360度全天球型映像シアターです。大きさは、地球の100万分の1である直径12.8m。空間への没入感、臨場感の中で、地球そのものが持つ生命力、地球のエネルギーの素晴らしさ、地球とつながる時間を2分30秒の世界で体感していただきます。空間を貫くブリッジに立つことで、足元から頭上までの継ぎ目のない美しい映像と、サラウンド音響を体験できます。日常とは異次元の全天球型映像の効果を最大限発揮するために、最先端の映像調合技術による12台のプロジェクターを使用し、従来のドーム映像とは比較にならない高精細・高輝度・高コントラストな映像を提供しています。

○直径 ... 12.8m

○球体外壁 ... ・構成素材 ... FRP合成樹脂 ※廃棄時にセメント原料に再利用可能  
・構成枚数 ... 160枚 ・色 ... グレー

○内壁スクリーン ... ・構成素材 ... アルミパンチングシート  
※プレス加工による曲面形成 ※均等に光を反射する、特殊パウダーコーティング  
・構成枚数 ... 308枚 ・色 ... グレー

○CG映像投影プロジェクター ... DLPプロジェクター 入口6台＋出口6台＝計12台  
※世界最高レベルの精細度とコントラスト比を誇る最新型を採用

○スピーカー ... 13個（スピーカー／11個＋大型サブウーハ／2個）

○制作会社 ... 株式会社 アサツキ ディ・ケイ